

	<h2>「地域コージェネレーションシステム」が コージェネ大賞 2022 で民生用部門優秀賞を受賞！</h2>
と き	2月3日（金）
と ころ	イイノホール（千代田区内幸町 2-1-1）
<p>3日、（一財）コージェネレーション・エネルギー高度利用センターが主催する「コージェネ大賞 2022」において、区と順天堂大学医学部附属練馬病院等が連携し整備した「地域コージェネレーションシステム」が、民生用部門で優秀賞を受賞しました。</p> <p>発災時における病院から医療救護所への電力供給体制を、都内自治体で初めて構築したことが評価されました。</p> <p>区は、今後も地域コージェネレーションシステムの運用練度を高めるため、関係者と連携しながら電力供給の訓練を行い、災害時の強靭性を高めていきます。</p>	



▲表彰式の様子

【内 容】

コージェネ大賞は、学識経験者で構成する選考会議で、コージェネレーションの平常時（非常時）の優れた特性や省エネ性等を評価する表彰制度。審査の結果、2022年度は、民生用部門6件、産業用部門6件、技術開発部門4件の合計16件の受賞が決定した。

今回、受賞した「地域コージェネレーションシステム」は、区、順天堂大学医学部附属練馬病院、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社、清水建設株式会社の四者が協働し、施工面、運用面等で様々な課題を着実に解決して実現した。

【地域コージェネレーションシステム】

コージェネレーションシステムは、都市ガス等を燃料として発電し、その際に出る廃熱を、給湯や冷暖房等に利用する効率的で低炭素なエネルギーシステム。このシステムを活用して、災害時に、災害拠点病院で発電した電力の一部を、近隣の医療救護所へ供給する「地域コージェネレーションシステム」の整備を実現。供給された電力は、医療救護所の照明等に利用する。

令和2年度に、順天堂大学医学部附属練馬病院と区立石神井東中学校との間で運用を開始。令和4年度には、公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院と区立光が丘秋の陽小学校との間で運用を開始した。



▲地域コージェネレーションシステム イメージ図